

匝瑳市 地域防災力充実・強化計画

大規模な自然災害等が発生した際は、公的機関による救助活動や物資提供等の「公助」に加え、「自分の命は、自分で守る」という「自助」の意識と、「自分たちの地域は、自分たちで守る」という「共助」の意識が重要である。

本計画は、「自助・共助」の取組を促進し、地域防災力の充実・強化を図ることで、災害による被害を最小限に止め、災害に強いまちづくりを推進するものである。

1 自助・共助の活性化

(1) 防災士育成事業補助金

ア 現状及び課題

災害による被害を最小限にとどめ、被害の拡大を防止するためには、市の防災施策の推進はもちろんのこと、「自分の命は自分で守る、自分たちの地域は自分たちで守る」という自助・共助の考え方にに基づき、各々が自主的に、また、地域で連携して防災活動に取り組むことが重要である。

本市においても、いかに地域住民の自助・共助に係る意識の高揚を図るか、また、地域における防災活動の担い手となる人材を育成するかが課題となっている。

イ 基本方針

地域における防災活動の中心的な役割を担う防災リーダーの育成を推進する。

ウ 目標（令和 7 年度末まで）

減災と地域防災力の向上のための活動が期待され、かつ、そのための十分な意識、知識及び技能を有する者として「防災士」を新たに 30 名育成する。

エ 具体的な取組

「防災士」の資格取得に要した費用について、補助金を交付する。

2 避難環境の強靱化

(1) 外部アンテナの新規設置

ア 現状及び課題

防災行政無線戸別受信機は、建物構造、地形、気象等の状況により戸別受信機本体のアンテナだけでは電波を受信しづらい場合があり、特に山間部において無線放送の聞き取りが困難な世帯が発生してしまっている。また、近年では、気密性の高い住宅を建築する方が増えており、戸別受信機本体のアンテナだけでは電波を受信できない場合がある。このため、避難指示等の災害情報を住民へ迅速・確実に届けられないことが課題となっている。

イ 基本方針

戸別受信機による無線放送の聞き取りが困難な世帯を解消するため、各世帯に外

部アンテナ（ダイポールアンテナ）の新規設置を行い、戸別受信機からの情報を確実に聞こえるようにする。

ウ 目標（令和7年度末まで）

新規に外部アンテナ（ダイポールアンテナ）の設置が必要な10世帯を行う。

エ 具体的な取組

対象となる世帯を訪問したうえで受信状況を確認し、戸別受信機本体のロッドアンテナのみでは受信状況が改善されないと判断した場合、外部アンテナ（ダイポールアンテナ）の新規設置を行う。なお、要した費用については、市の負担とする。